

【協議題】 報告書の取りまとめについて

【協議】

報告書(案)についての説明

委員

本日の協議題である報告書の流れについて教えてください。

委員

この報告書の全体の流れを説明します。

先ず、私達の協議会の任務は、辻高校と三好高校の統合について、その内容作りをするということでした。

辻高校と三好高校の統合後の教育内容はどうか、どうすればより活性化できるのかということで協議してきました。それで、2校合わせればこういう内容が良いのではないかと、あるべき姿や学科編成などについてまとめました。

しかしながら、議論の中で、いろんな課題も見つかってきました。生徒の減少が非常に激しいといった状況で、果たして議論してきた教育内容が持続できるのだろうかという疑問。それから新しい学校には普通科がありますが、普通科は池田高校にもあります。今、職業学科の再編統合を県下的に行っていますが、次の再編は普通科の再編をする段階になってくると思います。その場合は普通科教育の問題、三好地域全体で池田高校も含めた形で高校教育はどうかという議論をもう一度しないと、この2校だけの議論では限界があるのではないのかという課題が出てきました。それについて我々としては、3校を含めた三好地域全体で三好地域の高校教育について検討すべきであるという方向性を提言しました。

しかし実施するまでにはいろいろ検討事項があるので、時間が必要であり、取りあえず今ある3校はそれぞれの課題に取り組みなければいけないという当面の行動課題までを提言しました。以上、3段階の組立になっている報告書です。

委員

辻高校と三好高校の2校だけの統合を考えるというのではなく、地域の発展、振興を考えるのなら3校を含めて考えていくべきでないかということに、この協議会の結論がなっているように私は感じているのですが、どうですか。

委員

そのとおりです。ただ、地域協議会では2校再編の中身づくりだけをするのが我々の任務になるのですが、先のことまで見えてきて、皆さんのご意見もあって3校を含めて考えていくように議論が広がったわけですから、これらを提言という形で付け

加えさせていただいたところです。さらに先まで踏み込んだ提言というか報告書になると思います。

委員

全体の報告書ですから、各委員に合意を求めていくことで、報告書がはっきりすると思います。

委員

基本的に私も同じ考え方なんですが、その根本は予想以上に生徒数が激減することで、これに対してどうするかが非常に大きな問題であると思います。普通科を一本化するというようないろいろな問題もありますが、その根本は前回の資料にありましたが、平成36年度になると予想よりはるかに大きな減少率を示しているということです。これに対して2校の対応ということで協議を進めた結果、実際に実施していく段階になったときに、3年ぐらいたらまた再編せざるを得ないという現実に直面します。果たして2校を対象にしたいろいろな答申や報告や提言をしていいのかどうかを考えると、3校を含めた方向を今打ち出す必要が強くあるということが根本にあると思います。そういう点で言うと、この報告書に書いてくださっているそれぞれの方向というのは是非実施すべきであるという感じを持っています。

委員

他にご意見はありませんか。

委員

今言われた意見が3ページから4ページにかけて非常によく表現できていると思います。特に「今後急速に進む生徒数の減少を踏まえ、再編統合後の三好地域全体の高校教育を考えたとき、地域の子どもたちの多様な学習ニーズに対応した教育の展開や、大学等への進学体制の確保、さらには、再編統合した新高校と池田高校との間での普通科の再々編の可能性など、多くの課題があり、そうした課題に対応するためには、辻高校と三好高校の2校の枠組みでの再編統合の検討だけでは限界がある。」と表現できていまして、その後「池田高校も含めた三好地域全体として、多様な教育が展開でき、子どもたちの幅広い進学・就職希望にも対応しうる、より安定的で持続可能な教育体制を構築する必要があると考える。」と書いてあります。またその次のページについて、そういった内容の中から、「今後、県教育委員会において、池田高校も含めた三好地域全体の高校教育のあり方、新高校と池田高校との間の役割分担等についても十分に検討を加えた上で」、この再編を行うように提言するとまとめておりますので、私は非常によく我々が今まで出した意見をこの短文の中にまとめているように思います。

委員

他にご意見はありませんか。

委員

新しい学校に関する協議の概要の中の教育の基本方針のところ、目指す学校像の「知・徳・体の調和のとれた、人間性」というのはどういうことですか。これを策定した人の意見があれば、お聞きしたいと思います。

委員

ものなどに価値観を追い求めるのではなく、今、心の時代と言われているように、人間性、家族愛が教育の場で議論をされるようになっていきます。調和のとれた人間性が必要であるというのは、共通された認識だと思います。そういう意味で「人間性豊かな」という表現をより具体化するために、「知・徳・体」を入れたわけです。

県教育委員会

この(1)目指す学校像と(2)育てたい生徒像は、これまでの協議会で何回か協議いただいたものを、皆様のご了承をいただいたものとして書かせていただいております。「知・徳・体」というのは、文部科学省の生きる力の確かな学力、豊かな人間性、健やかな体で、知・徳・体の調和のとれた全人的な教育が必要ではないかということで、当協議会でも書かさせていただきました。

委員

これは今までの協議会の中で、議論され、合意された文章そのままです。

委員

人間には、理と情があります。理知と情感と言いますが、そういう角度で捉えることもあります。さらに、意志、心構えというものもあります。しかし円満な人は、「知・徳・体」の調和がとれています。ただし、私が捉えている知というのは、単なる知識ではなく、知恵の知に通ずる知です。そういう教育を行っているかが問われるのではないのでしょうか。そういうのを含めた調和のとれた人間性を言うのなら、3分野がよいと思います。

委員

「知・徳・体の調和のとれた」ということなんですが、子どもたちが学ぶことに喜びを感じ、生活に興味・関心を持ち努力する。そして、心優しい子どもたちを育てることで、知・徳・体の調和のとれた人間性の豊かな子どもになるのではないかと思います。

自分たちがそれぞれの学校で、子どもたちの教育を見直していく機会になったのではないかと思います。特に4ページのところに三好3高校の課題が書かれており、このことを真摯に受け止めて、三好地域の子どもたちのために3高校でどういう方向に頑張っていけばよいのかも書いてくれています。三好高校も専門教育をする学校としての自覚と、子どもたちのために教育をすることを全職員で考えて、将来の新しい高

校再編に向けて準備をしていきたいと思います。

委員

よくできているので、これでよいと思います。

委員

よくできていると思います。特に4ページの おわりにの「この地域を支える人材を育てる」というのは、ずっと話が出ていたことで、よくできていると思います。2ページの設置学科のところ、私は看護科や福祉科のことで実際地域が必要としている資格が取れることが、この高校の意義になってくると思ったので、「普通科、農業科のほか」のあとに、「資格が取得できる」という一言があればありがたいと思います。「介護関係の学科の設置については」を「も」に替えて欲しいと思います。

委員

看護科や福祉科の場合は資格が取れることを議論したので、ご指摘のとおり入れたらいかがでしょうか。

例えば、「資格取得につながる看護科、福祉科など介護関係の学科の設置」というふうにすればいかがでしょうか。

委員

「多くの時間をかけ協議した」とあるので、この言葉のままで大丈夫だと思います。

また、そのあとに「法改正に伴う介護福祉士の資格取得の変更など」に資格も出ているので、あえて入れる必要はないのではないかと思います。

委員

なるほど、入れなくてもその意味にはなりますね。

委員

この文章で大丈夫だと思います。

委員

4ページの おわりにの2行目「三好地域の子どもはこの地域の学校で教育し、この地域を支える人材を育てるとの思い」とありますが、この「思い」では弱いので強く表現するのはいかがですか。

委員

人口が減っているなので、近い将来池田高校も含めた協議会が必要だと思います。そのためには、3高校に課せられた課題をしっかりと研究していただきたいと思います。

委員

先程の語句の議論ですが，もとの原文のままでもわかると思いますので，原文のまままでいかがでしょうか。

< 異議なし >

委員

資料 の表ですが，生徒数のデータが平成 21 年度分からになっています。以前の資料は協議会の始まった平成 18 年度からになっていたもので，そのようにして欲しいと思います。いかがでしょうか。

< 異議なし >

委員

他にはご意見ありませんでしょうか。

なければ，これで報告書の審議を終わらせいただきまして，まとめさせていただきたいと思います。

修正させてもらった最終の報告書を委員の皆さまにお送りさせていただきます。

なお，報告書は代表して，私の方で県教育委員会に提出させていただきたいと思います。

それでよろしいでしょうか。

< 異議なし >

委員

それでは，そのように進めさせていただきます。

以上，今回をもちまして，本協議会は任務を終了することになりました。

委員の皆さま方には，長期にわたり，熱心に御協議いただき本当にありがとうございました。皆さま方の御尽力に厚くお礼を申し上げます。